



平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
 代表者名 取締役社長 大川 伸
 (コード番号 3205 東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役上席執行役員 管理部門担当 福羅 喜代志
 (TEL : 03 - 3257 - 5022)

特別利益の計上および連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別利益の計上を行う見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の連結業績予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別利益（建設協力金の精算益）の計上

連結子会社である株式会社ダイドーフォワードが運営しております商業施設「ダイナシティ」において、核テナントの一つの退店により平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間に建設協力金の一部の精算を行ったことにもない、建設協力金の精算益 195 百万円を特別利益に計上する見込みです。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 30 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,900	百万円 △ 100	百万円 △ 100	百万円 300	円 銭 8.90
今回修正予想(B)	27,272	△ 318	△ 384	329	9.75
増減額(B-A)	△ 628	△ 218	△ 284	29	—
増減率(%)	△ 2.3	—	—	9.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	21,408	△ 1,337	△ 1,448	△ 1,521	△ 45.20

(2) 修正の理由

衣料事業において、海外子会社の製造および卸売部門で販売数量の減少や単価の低下があり、国内ではOEM受注・販売の数量が減少いたしました。不動産賃貸事業の売上高はほぼ計画通りでしたが、衣料事業の売上高減少により、連結売上高は前回予想を下回る見込みです。

売上高の減少および原材料価格の上昇による利益率の低下などにより、衣料事業の中国およびイタリアの製造部門において計画比約 560 百万円の営業利益の減少を見込んでおります。国内において連結子会社の合併を行うなど業務効率の改善と経費の削減を進め、小売部門で営業利益が計画比約 60 百万円増加、管理部門の経費が計画比約 330 百万円減少するなどの効果を見込んでおりますが、製造部門の利益減少を補うにはいたらず、営業利益および経常利益は前回予想比で損失が増加する見込みです。

上記 1 の特別利益を計上することなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比で増加する見込みです。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、様々な要因により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上